

## 銅板画家 秀島由己男氏の作品紹介

☎ 社会教育課 文化係  
☎0968・34・3047

水俣市出身で銅版画家の故秀島由己男氏（享年84歳）は、晩年の約25年間を和水町に居住し、創作活動を行っておられました。和水町在住時には、石牟礼道子氏の熊日新聞掲載小説『春の城』の挿絵を担当されたほか、多くの偉大な作品を生み出されました。

平成30年にご逝去された後、和水町では秀島氏の作品やコレクションを保護し、専門家の指導の下、適切な環境での保存や内容調査を行っています。今回はその中から2つの作品をご紹介します。紙面のため実物の迫力とは大きく違いますが、黒を基調とした画角の中に非常に緻密な表現で描かれた作品をご覧ください。

なお、作品については整理が済んだものを数点抜粋し、期間を限定して展示する計画です。



春の城 - 扉一  
1997 リトグラフ 42.0 × 34.2cm



Melon (詩画集「静物考」)  
1985 メゾチント (手彩色) 17.1 × 17.3cm

## 旬のものを簡単アレンジ 「きゅうりとトマトの青じそマリネ」

☎ 健康福祉課 保健予防係  
☎0968・86・5724



### 【材料（4人分量）】

- きゅうり…………… 120g
- トマト…………… 160g
- 青じそ…………… 2g
- オリーブオイル… 小さじ2
- 酢…………… 大さじ4
- しょうゆ………… 小さじ2と1/3

### 【作り方】

- ① きゅうりは皮をしましまにむき、0.5cm幅に切る。
- ② ミニトマトのヘタをとり、半分に切る。
- ③ 青じそはせん切りにする。
- ④ Aを合わせ、マリネ液を作る。
- ⑤ ①～③を④に加え、混ぜ合わせ味を染みこませる。
- ⑥ 器に盛り付ける。

### ひとくちメモ&栄養コメント

1人当たり約70gの野菜が摂取できます。あと一皿野菜料理を増やそうという時にも短時間で作れ、緑黄色野菜、淡色野菜両方が摂取できます。

## 文芸広場

### 菊水俳句会

コロナ禍を清める滝のしぶきかな  
永田 紘彦

あちこちとポイント探すやまめ釣り  
嶋田 俊一

庭のすみ仏おわすかうこん咲く  
池田 松子

色重ね光かさねている青葉  
中山ミサト

めがね橋下は泳ぎ場子らの声  
宮中 康雄

### かなしき原俳句会

はびこりて十葉の花憎からず  
康子

川底にまだ影置かぬ目高の子  
弘子

田蛙や鳴き止む術を知らぬげに  
誠一

南天の花より夜の明け初むる  
貞子

目を閉じて聴くレクイエム沖繩忌  
明

暮春脱ぎ石を動かさざり  
しん子

### 肥後狂句

旅に出よう これが最後の成田発  
池田 茜

山んごつ 昔はもろたチョココレート  
石原かわせみ

あらまア 又嫁さんが変わつとる  
井上りんどう

遊び心 そぎゃん男は要注意  
瀬上 歌子

歳も歳 無理はきかんとおもしろい知り  
高木せいや

奥の手 里に帰って良いですか  
二瀬 桔梗

やおいかん モッコス様が一人いて  
福永すみれ

半端ない 本好きが床つっぱがし  
庄山 道草

## 和水町公民館図書室だより

☎ 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022  
☎ 三和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く。） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

地震、台風、水害…自然災害は、いつ起きるかわかりません。そんな自然災害に備えて、日々の生活の中に防災に対する知識を持ち、災害に対する不安な気持ちを少しでも解消しましょう！



### 「親子でかんがえよう！ 防災クイズずかん」

著者：桶田ゆかり  
株式会社：チャイルド本社  
「あ！じんだ！」そんなとき、きみならどうする？…子どもたちの大好きなクイズに答えながら、楽しく防災の知識を身につけることができます。この本を通して、家族で防災について話し合うきっかけになればうれしいです！



### 「レスキューナースが教える プチプラ防災」

著者：辻 直美  
株式会社：扶桑社  
二度の大地震を体験した著者が、「誰にでもできる対策を教えたい。必要以上にお金をかけずに、日常に取り入れることができる防災術を届けたい！伝えたい！」という思いからつくられた本です。防災グッズを揃えるだけでなく、災害についての正しい知識と、対処するための知恵を得ることも防災であるという著者。参考にしてみてください。